

白和西爾日報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente

Rua Conselheiro Furtado
No. 89
Caixa Postal H
S. Paulo, Brazil
Proprietário e editor
Seisaku Kuroiishi

Assignaturas
por Anno 10\$000
,, Semestre 5\$500
Mez 1\$000
Semana \$800



José Bonifácio de Andrada e Silva

用論　耕地がコロノに呉れた
　　、年　　には「ブラジルで難儀する者
孝だ　怠情なり」と書いてある。又ざんざ
者でも同地に行けば金持ちになる
立派な日本活字で書いてある、力
　　井が如何に良耕地であらうとも
　　まり吹き飛ばすと人間が集まらぬ、
千載一遇の好機に際會して、故國に
於ける伯國熱をあふるにあたつて、國に
事實は眞を傳へなければならぬ。然
戸丸時代の頭脳を今日に適用せんと
する者あらば、少なくもろい人の頭
脳は十週年だけ遅れてゐる。

ノロエヌテの諸君が上塚鈴木平野の根ろの他の名士を占有するに比して不便不利の上がない、さればこの未曾有の降霜あり、全州の珈琲、茶葉もまた、聖市を出でて百十日目に歸聖に於けるを視て大なる満足を覺たと同時に、吾等の前途に關し一種の不安を感せざるを得なかつた。

前年バラナ、サンタ、カタリナ、ラスベガスを旅し、今次三角ミナスより、サンタマリヤ州の一端を覗いて、僕はつくづく聖州の地味豊沃にして土壌の小資本者の發展に好適なると思ふ。最後に旅行中、多大の御配慮を乞うた同胞諸君に對して厚く御禮を申上げる。(終り)

でもあるまい程に田舎タビもこれでやめる。
カタンヅーバ、ビンドラマ附近を同線日本人發展の中心とする。支那人は料理と酒作りしか知らぬが日本人は頭が能くて金持ちである、何事にはなかつた、つまりぬ土地を高値で購ふてやるが日本人の美點で、あると或外國人が日本人を貰めて呉へ行つても大歓迎心した土地を見た者を見ない、だから福島縣を贅澤に流れてゐる、青年ながバトロンの息子の様なうりをして町へ遊びに来るご心配して語つた人もあるが、地質が悪いといふ様な批評は、氣にする必要はない、家は贅

いふて呉れた、僕の馬は三百圓、うの
の視七百圓、大に尻を痛めた。
鐵道が今にも開通されりうな話
處女林深く突進する人もある、聯
側の日本人がはるゝ遠いブライ
價で押渡つて米や豆を作つたうだ
何處運搬の便がなくて難儀してゐる、
購ふつれけでやらすばなるまいと米國
耕地英國か鐵道や汽鑼車を送つても吳
さはまい程に世の中によくある鐵道延
澤だ線もさう手取早くは抄取るまい。
中間君のシチオはつまらぬ處で

僕は此等の殖民地を祝するに二日往した、地區全部の森林を一度に伐りたて拂つて、どんど木を植へて行く。急な日本人の殖民地經營法は、獨露人が最初の三分の一を伐り去り得たる所得を以て先づ煉瓦作の家の家屋を作り行く。彼等のやり方に於くもない、日本人の所謂殖民者は飛行性を帶んでゐる、ア線の殖民者が、ノロエヌラ線豆を作て聞かせ、飛行も決行するに躊躇しない。アラ、クアラ線第一の缺点は此

▼衛生講話▲

醫師 高岡専太郎

△ほんとうに、永く旅を一先づて、収容所に解かれた同胞諸君、諸君の胸中には色々な感じがこんがらかつて往来してゐる事でせう、殆んど二ヶ月に近い無爲の生活は生涯の大激變であつたと想像致します、なかなか元気な様あります、一種の勢の色あるは掩はれぬ事實で當然の事であります、其の目的的には一週日以内に到着する事になりませうが、其境合にどんな用心が必要ませうか次に體を述べます。

△氣候風土、父祖傳來、自然順化する日本の内地で働かれてゐる折りには、衛生など云ふ特別な注意を拂わなくとも健康にくらして來た感念が、此土地に來て後に災をする、凡てが突然反対な土地、水も變つてゐる、と云つた譯であるから、此點は今後特に注意を要する次第です。

△食物船中では運動が足りない、なる可く淡泊な食事、殊に麥飯など食つてゐる方が衛生に適つたやり方だつた、處がそれゝ間々文句があつたと聞いた、これは衛生上の理解が無い爲め無理も無い話ですが今後はうれではない、充分呑み込んで置く必要がある、一家相互に警戒し合つて行く様にせねばならぬ。

△此土地に來た以上は食事は此國の人に適したもののが生へてゐるの風にして行くのは天理にかなつた方法である、植物としても自然に土地の人間に適したものが生へてゐるので、例へば此國で常食してゐるのジョンと云ふ豆がある、これながは衛生上から見て大變良い食品で、是れは自然治る事受合です。

△あまり淡泊な純日本風の食事は此國では適當でない、勞働に比例して滋養物を食ふ必要がある、これを食べてゐれば自然治る事受合です。從來でさへ日本人はある事になる。

まり粗食故に熱病に弱いとの批評を聞いてゐるから注意せねばならぬ。

△病氣に罹つてから騒ぐのは未で

ある、歐羅巴の戰争ばかりでない、

我が身邊に平生見へぬ敵がある、

うれに侵入されぬ様日々用心して行

が多い、食ふに困らぬ國ですから、

こうして行けば幸先が良くて必ず成功

疑ひなしである。

△あきらめ過ぎるな心配するな身體

の調子を狂わすのはこんな事柄から

○同カランドザール驛ドーマ八番

新澤盛吉

中村淺右衛門

中渡瀬猛次郎

石原源左衛門

中山吉之助

一金二ミル

一金二ミル

一金三ミル

南行紀

坂元 錦

南大河州の首府

市街の特産物なり。

市街の體裁は可なり整頓し、聖市

キンセ、テ、ノベンプロ、ルアジレー

食後自動車を飛ばし市況を一覽す、

市街の體裁は可なり整頓し、聖市

テ、ノベンプロ、ルアジレー

タ若くはリオ市のオビドーロに似たる處歎なからず、市民の約三分の一

市民の大部分は獨逸人化せられ獨逸人及び獨逸人系統に屬する爲め

市街の體裁は可なり整頓し、聖市

謂ひ難し、されば飲料水は勿論の事級の繁華なる市街なり、普通官衙の用水さいも各家毎朝遠方より運搬し外宏莊なる騎兵聯隊の建物、丘上に来るを購入するの不便あり、此地に於て入浴など想ひもよらず。此附近ジャクイ河の沿岸一帯、米作地位の處にて、夜中寢臺虫と蚊軍（五數倍あらんかと思はる地域、最初はリオグランデ市と當市との中間に最も上の旅館を求めて入りしも中はジ盛んにして一望千里、黃金色なせる月なるに蚊多く而かも蚊帳の設けなしの襲氣には閉口しぬ。町人何れも「アレマン」にして無論獨語を使用せるもハンザ附近の獨人に驚かされたり。ある儘眼鏡を以て熟視すれば豈しの襲氣には閉口しぬ。日本同音に云ひよつた。全く青年の鑑として恥しくない比して獨氣に乏し、宿屋の下女、吾々を曲馬師の講元と問達へシルコは、タ若くはリオ市のオビドーロに似たる處歎なからず、市民の約三分の一を始めるや、四五日すれば當時より始まる。町の大なるフエスタなれば、それ迄は是非潛在興行して一儲けせよとは是が非潛在興行して一儲けせよとは開けた口が塞がらず、香椎氏と顔見合はして苦笑せしも滑稽なりき。太利人をマカロンとビニヨの後胤カフェエーはマテ茶に變じ、フエジョンはバタチニヤに化して机上を販かと云ふべきなり。

岡田隆近君の死を悼みて

在三角ミナス福川薩然

岡田君の死を

是れが不孝の罪を犯して迄もこちらに渡つて来た私の僕らざる考へである。長崎縣人宮崎、福島縣人瀧内、利田、大山瀧内、鹿兒島縣人山口、田中、龍原、畠野、煙野、

田、園田、西村、禁田、平石、廣島縣人池岡、池岡、池岡、菅原、唐中、

稻田氏は醫藥從事から葬儀萬端の費用

を自ら負担せられ利害へ多額の香典

米作地として有名なるジユキヤー

を石塔費の一部に當て、貴度度いと

リオベツシ附近の土地を、左の條件

で提供しますから、御望みの方は一

日早く御申込み下さい。

一、地主、伯國大商店ライモンド、

バスコンセーロス

の額が六ヶ月分として實に稻田氏

に財布があつて、其の中に日本金、米金等が少しあり、借貸が澤山入つて居た、此の借貸こうう岡田君が病氣に

此附近の親類に宛てて贈られた。

葬儀の後で遺留品を調べた所、荷物

に財布があつて、其の中に日本金、米金等が少しあり、借貸が澤山入つて居た、此の借貸こうう岡田君が病氣に

此附近の親類に宛てて贈られた。

稻田氏から受取つたものである、其の額が六ヶ月分として實に稻田氏

に財布があつて、其の中に日本金、米金等が少しあり、借貸が澤山入つて居た、此の借貸こうう岡田君が病氣に

A vertical calligraphy strip featuring the characters '宋人画竹' (Painted bamboo by Song people) in cursive script, with '苏轼书' (Written by Su Shi) written vertically to the right.

「はねね、船から上ると危ねねから、モウ少し川中へ出しても居るに丁度宜い。」
「さう、賛澤を云つちやア困るせ、早く上つて吳なん」するど彼の武士は土時に船頭俺も飛んでもない事で此奴と此處で切合をしなければならない、是れが災難といふのだ、我れは武術修行の伊豆原軍藏といふ者だ、此奴に此處で殺されるかも知れないが、若し俺が殺されたら此胴巻に金子が五十兩、着替が一枚あるが是れを汝に遣はすから、汝の菩提(ぼだい)は我が死骸を納めて呉れ、跡は其方になります。土コレ、俺が殺されなければ、此まで掲載して來ました『寛永御前試合』は近々に一段落がつりますから、此次は大評判の小金井蘆洲講演にてあります、余平内は柳生但馬守より天下無敵の許しを受けながら義の爲にかゝる余平内を掲載することに至ります、余平内は柳生但馬守より天に昇ります。是が如何に本紙の上に躍如たるかは掲載を俟つて御高評をねがいます。

十三郎も懷中から財布を出して、十船頭此武士に拙者が討れたら、此財布の中に五十兩あるのですか。ナア二百二十四文で死骸の取片附を仰せ付けられて堪るものちやアなるが、是れを其方に渡すゆゑ死骸を取片付けて呉れ、船御免を蒙ります。」
十三郎は、百二十四文で死骸の取片附をして、十三郎は貞秀の大刀を引抜き伊豆原軍藏は五郎正宗の太刀を抜いて雙方星眼に付けて様子を見る。

豫告

日本服全廢の必要子

豫首

が、少數の人の間違つた行ひが、日本全體に影響して、日本の女はまだ野體未開な下等なものだと輕蔑され、之が更に排斥の原因となるのでありますから、呉れぐも心得違ひのない様にねがいます。

▲併し如何に心に注意しても、身に纏ふ衣服がきちんととしてゐませんときには思はざる醜態を露はして、十年の心掛をたつた一度で破ることもありますから、先づ何よりも日本着物を一切用ゐぬ云ふことが第一に必要な事であります。私が中上位迄もなく、日本着物はつい胸が露はれたり、乳首が出たり、脚が見へたりするものでありますし、其れに仕事をするときに袂が魔麗になつたる迄もなく、裾が脚にからんだりしますから、自然禪を懸るやうなき、裾をまくることにして、つい異様な身姿を外人などに見られて、つまらぬことで輕蔑されるのでありますから

▲伯國へ來たならば、日本着物を一切洋服形に作り直し、外は勿論家の内でも日本服を着ない云ふことを断行しなければいけません、洋服は皆さん御覽の通り大變手軽で、よく見られて、是れ程都合のよいことがないと思ひますから、日本衣を洋服形(側衣)に作り直すことは非忘すべからぬ様に、御實行をねがふます。

▲私は洋服が數奇だから申上の譯ではありませんが、美的點から申しましても、不自然な日本服よりも洋服の方はたやすいと思ひます、日本服は着物で身體の恰好を作るのであります、が、洋服は身體に合はして持て生れた肉つきのよい立派な體格を現はすのでありますから、洋服は平素の働き着物よど、他所行着物に至るまでどうも自然でよいと思ひます。されに私共の住んでゐます伯國は、上は白人より下は黒人に至るまで、皆な洋服を着てゐるのでありますから、私共も是非洋服風のバイカラを徴つて、伯人から輕蔑されない様にしなければなりません。

告示

今般當館に於て在留日本人土地所有者名簿を作成候に付 土地所有者は至急左記の事項を届出相成たし

原籍姓名

一、地價全部拂込済の上
二、年賦拂込の者は其

右 告 示 す
時 日 手 に 携 送 漢 金 箱
在 サンバウロ市
帝 國 總 領 事 館
Caixa Postal 167
S. Paulo

日本郵船會社定期帆
博多丸

九月廿五六日頃サントス着豫定
はなま丸

御用の方は左記の中何れかへ御照會あり
今回に限り乗客御断り申候

ANTUNES DOS SANTOS & COMP

AGENTES DAS COMPANHIAS

AGENTES DAS COMPANHIAS

NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSEN KAISHA

NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSEN KAISHA

NIJON YUEN KAISHA LTD. CHOCOLATE KAISHA